

科目番号		52105	分類	基礎助産学	履修者	高度実践助産コース			学年	
科目名	家族社会学特論 (Advanced Family Sociology)								1	
									配当セスター	
									通年	
担当者	○渡邊香 他 1 名			区分	助産師プログラム	選択	単位	1	時間数	15
授業の概要および目標							学位授与の方針との関連			
【概 要】 家族の様々な諸相を理解するために、家族社会学についての基礎的な概念や内容を学ぶ。そして、現代の家族問題への理解と社会的対応について整理し、共働き家族、高齢者介護、児童虐待、ドメスティックバイオレンス（DV）などの現代の家族問題に言及する。DV は周産期に増加する傾向にあるため、DV 緊急対応 ができるようにする。 また、リプロダクティブ・ヘルス/ライツに影響を及ぼす現代社会の課題やジェンダー格差が健康にもたらす影響について学び、家族社会学の視点から人々をエンパワーメントする方策を検討する。 【目 標】 1. リプロダクティブ・ヘルス/ライツと家族問題について説明できる。 2. ジェンダーの視点を学ぶことで家族社会学におけるジェンダー分析が説明できる。 3. 現在の家族問題とその対応について説明できる。 4. 社会や家族の中で生じる暴力について学び、その対応について説明できる。								1.自律して自然分娩の支援ができる能力		
								2.院内・院外助産システムを担うことができる能力		
							○	3.女性の生涯にわたる健康を支援できる能力		
								4.周産期の救急時に対応できる能力		
							○	5.他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力		
								6.研究・開発能力		
							○	7.倫理的意思決定能力		
授 業 計 画										
回	内 容								担当教員	
第1回	家族社会学の概論								渡邊 他 1 名	
第2回	ジェンダーについて									
第3・4回	リプロダクティブ・ヘルス/ライツについて ①生殖技術と家族（中絶、不妊）									
第5回	②生殖補助技術がもたらした影響（心理、制度）									
第6回	社会・家族の中の暴力におけるジェンダー分析									
第7回	DV、デートDV、セクシャルハラスメント									
第8回	児童虐待、高齢者虐待について 暴力における対策について									
事前・事後学習	事前学習：授業計画の内容をもとに、各自自習した上で授業に臨むこと。 事後学習：配布資料を復習する。また、場合によってはレポートを課す。 （レポートを書く際に、必ず、事前にレポート、論文の書き方に関する文献を読んでおくこと。）									
評価の方法	筆記試験（100％）									
参考図書・資料等	◎助産学講座 4 母子の心理・社会学 第6版 我部山キヨ子他 医学書院 参考図書は適宜紹介する。 ◎は授業の必携図書のため購入を必要とする。									
備 考	レポートを書く際に、必ず、事前にレポート、論文の書き方に関する文献を読んでおくこと。 オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。 フィードバックは適宜行う。									